

子曰く、君子は事え易くして、説ばしめ難し。之を説ばしむ
 るに道を以てせざれば、説ばざるなり。其の人を使うに及びて
 や、之を器にす。小人は事え難くして、説ばしめやすし。之
 を説ばしむるに道を以てせずと雖も、説ぶなり。其の人を使
 うに及びてや、備わらんことを求む。

【大体の意味内容】先生はおっしゃった。「立派なリーダーのもとで働くのは容易いが、その
 リーダーを喜ばせるのは難しい。人としての正しい道徳に基づいて行わなければ、喜んで
 もらえないからだ。お世辞を言ったり、賄賂を贈ったりしても無駄である。私たちを働かせ
 るに当たっては、それぞれの才能や能力に応じた仕事を分担させてくれる。

それに対してくだらないリーダーのもとで働くのは困難だが、彼を喜ばせるのは簡単だ。
 道徳的である必要はなく、お世辞を言ったり、賄賂を贈ったりすれば簡単に喜んでくれる。そ
 のくせ私たちが働かせるときには、一人で何役もこなせる能力を備えることを、平然と
 要求してくる。」

大学で卒業論文執筆の準備を進めていたときのことでした。私がいた研究室の指導教授の誕生日が十
 月にあり、仲間の学生たちと恩師の誕生日パーティーを企画しました。誕生日の当日、私たちは恩師の研
 究室を飾り付け、ケーキやその他の飲食物を机に並べて先生を待ち構えました。そうして、先生が入
 ってくるやいなや、クラッカーを鳴らし、「ハッピーバースデー・トゥー・ユー」を歌い始めました。
 このあとプレゼントを渡す予定でしたが、歌い始めた途端、先生は烈火のごとく怒りだしました。「い
 ったいなにややってるんだ！論文提出は十二月十五日だろう！まだ誰も全然書いていないのにこんな
 ことしている場合か！くだらんことするな！やるべきことをやれ！」バーンと音を立てて戸を閉め、出
 ていってしまいました。残された私たちはシユンとなって後片付けをしながらも、なんだか不思議に感
 動していました。まだこんな侍がいるんだ。私たちの先生が、まさにそんな人なのだ、と。